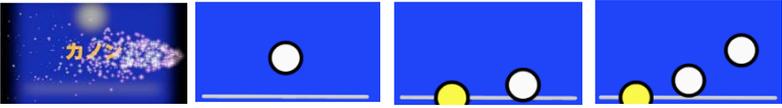


教材・支援機器活用実践事例（特別支援学校版）

実践年度・タイトル		平成( 27 )年度
		「見える支援」により、主体的な活動を促す取組
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input checked="" type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )
	単元・題材名	音楽「リズムにのって」
	授業の目標	<input type="checkbox"/> 画面を見ながら、簡単なリズム打ちに取り組むことができる。 (この他に、歌唱、身体表現、鑑賞においても目標を設定している。)
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input checked="" type="checkbox"/> 「技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他( )
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 5, 6年 28人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題 (特性・ニーズ)	<input checked="" type="checkbox"/> 見る <input checked="" type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input checked="" type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性-衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他  <input type="checkbox"/> 視覚優位の児童や、状況の変化に対応して行動したりすることが難しい児童が多い。 <input type="checkbox"/> 時間割や様々な学習支援で使用する手順書など、上から下への視線の動きに慣れている。 <input type="checkbox"/> 日常的にテレビを見たり、タブレット端末を使ったりすることに慣れている児童が多い。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	【ハードウェア】 <input type="checkbox"/> パソコン 【ソフトウェア】 <input type="checkbox"/> アニメーション動画(自作) 題材『カノン』 
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援 ( <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援 ( <input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援)  <input type="checkbox"/> 児童にとって分かりやすい視覚的な情報を手掛かりにすることで、教師によるモデルの提示や言葉かけが無くても、タイミングを把握し、タンプリンを鳴らすことができる。
授業に授業展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	<input type="checkbox"/> 単元は8時間で実施する。 <input type="checkbox"/> 教室のテレビ画面に投影したアニメーションを手掛かりに、児童がタンプリンを鳴らすことができるようにする。 <input type="checkbox"/> 音を鳴らすタイミングで画面上部から落ちてくる円の色が変わるようにすることで、より分かりやすく情報を示す。 
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	<input type="checkbox"/> 単元終了後、28人の児童にアニメーションの効果について、教師が4つの基準で評価した。児童28人中12人(42.8%)の児童がAの評価を受けた。 <input type="checkbox"/> 本実践で取り組んだ「見える支援」は、児童の主体的な姿を引き出す上で有効であった。  評価基準 A～落ちてくる円の動きを見て、タイミングを把握し、タンプリンを鳴らすことができた。 B～落ちてくる円の動きを注視していたが、タイミングを合わせるまでには至らなかった。 C～画面は見えていたが、集中させるなどの教師の言葉掛けを必要としたり、自分の好きなように鳴らしたりしていた。 D～アニメーションに関心を持つことはなく、自分の好きなように鳴らしていた。